MFE-280

305587

□要

□明

MFE-280□胞株は、ヒト由来の子宮内膜腺癌 □胞株であり、特に低分化型（グレード 3）の子宮内膜癌を代表するものです。この □胞株は、侵襲性の高い子宮内膜癌、とりわけ予後不良な症例に関連するがんの挙動をモデル化するため、婦人科がんの研究において広く利用されています。 MFE-280□胞は、エストロゲン受容体（ER）アイソフォームの発現が低いか、あるいは検出不能であり、この点で石川 □胞などの侵襲性の低い子宮内膜がん □胞株とは区別される。この特徴により、 MFE-280□胞は、ER非依存的な子宮内膜がんの進行メカニズムを研究するための理想的なモデルとなっている。

これらの □胞は、がんの増殖、浸潤、転移に関与する分子および □胞経路の役割を解明するために利用されています。例えば、MFE-280□胞は、子宮内膜がんの重要な危険因子である肥満に関連するホルモンであるレプチンの効果を評価するために使用されてきました。 レプチンは、JAK2/STAT3シグナル伝達経路の活性化を通じて、 MFE-280□胞における上皮間葉転換（EMT）を促進し、増殖および浸潤を亢進させることから、子宮内膜がんの病態形成におけるその重要性が浮き彫りとなっている。 さらに、アクアポリン-1（AQP1）イオンチャネルを標的とする薬理学的阻害剤は、 MFE-280□胞の浸潤能を低下させる有効性が実証されており、侵襲性の高い子宮内膜がんに対する潜在的な治療アプローチとして注目されている。

MFE-280 □胞を用いた治療研究では、GW3965 などの選択的肝 X 受容体（LXR）アゴニストについても検討されており、これらはこれらの□胞の増殖を著しく抑制することが示されている。 これは、進行性および治療抵抗性の子宮内膜がんを対象とした新規薬剤ターゲットの同定や治療用化合物の評価における、同□胞株の有用性と合致するものである。

MFE-280□胞株は、侵襲性の高い子宮内膜がんの根底にあるメカニズムを解明し、治療戦略を推進するための貴重なリソースであり続けている。

ティッシュ	子宮内膜
病気	腺癌

同義語

- MFE 280
- MFE280

分類

生物	人間
セックス	女性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様
腫瘍形成性	はい、ヌードマウスで

識別子

引用

MFE-280（Cytion カタログ番号 305587）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_1405

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

発現と感受性

発現している受容体

プロゲステロン

取り扱いと飼育

培地

45% RPMI 1640 + 45% MEM（アールズ塩を含む）

培養雰囲気	37℃ ′ 5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に、10%の熱不活化FBS ′ 1%のITS（0.625 mg/mL ヒトインスリン、0.625 mg/mL ヒトトランスフェリン、0.625マイクログラム/mL セレン酸ナトリウム、0.535 mg/mL リノール酸、 125 mg/mLのBSA）および2 mMのL-グルタミンを添加する

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3～5ml ′ T75フラスコでは5～10mlのPBSを使用する。次に、TrypLE Expressで□胞を完全に覆い、T25フラスコでは1～2 ml ′ T75フラスコでは2.5 mlを使用する。室温で8～10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、□胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、 □胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

流体の更新	週に1～2回

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	77年
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

商品詳細

構成表